



▲ヴァイオリニストの戸澤哲夫氏(左)と市内在住ピアニストの小川由希子氏(右)による演奏はアンコールを含め11曲も披露されました

五感で楽しむ午後のひととき ミュージアムカフェ&コンサート

6月25日に古河歴史博物館、古河街角美術館、篆刻美術館、古河文学館を巡るミュージアムカフェ&コンサートを開催しました。

参加者は4施設を自由に巡り、古河の歴史や文化に触れた後、鷹見泉石や徳川慶喜が飲んだとされるコーヒーを再現した「茨城ヒストリアカフェ」を堪能。コンサートは楽曲にまつわるエピソードトークを交えながら行われ、ピアノとヴァイオリンの音色を楽しみました。



▲土のうを積み上げて堤防からの漏水を止める「月の輪工法」を行う団員

いざという時の備えを万全に 二市一町合同水防演習

6月19日、渡良瀬川堤防左岸で古河市、坂東市、境町の合同水防演習を実施しました。

利根川・渡良瀬川両河川の洪水による水害を想定し、古河市消防団員81人が土のう作りや月の輪工法など、手順を確認しながら訓練を実施。参加した団員は「今日学んだ経験を生かし、地域住民の安全を守りたい」と力を込めて話していました。

食でウクライナを支援

晃陽学園 チャリティー学生レストラン

7月9日、晃陽学園でウクライナ支援を目的とした学生レストランが開催されました。

当日は、学生が調理したウクライナ郷土料理である「ボルシチ」やチキンのキエフ風カツレツなどをコース料理で提供。来場者は「とてもおいしい。料理を食べることが支援につながればうれしい」と話していました。



▲売上金の一部はウクライナへの支援として寄付されます

家庭や地域の教育力向上を 古河市家庭教育講演会



▲非認知能力の大切さについて話す岡山大学准教授の中山氏

7月1日、ユースセンターKI防水で古河市家庭教育講演会を開催しました。

講師の中山氏が意欲や楽観性、忍耐力や自中心、コミュニケーション力や共感性など、学力テストでは測れない非認知能力の大切さについて講演。家庭教育学級関係者を含む120人の参加者は熱心に聞き入っていました。

独自の史観で鎌倉を見つめた作品群 永井路子が描く 鎌倉殿と御家人たち

古河文学館では10月25日までテーマ展「永井路子が描く鎌倉殿と御家人たち」を開催中です。

自筆原稿や取材ノート等の貴重な資料を通して、永井氏が描こうとした鎌倉時代の実像に迫ろうとする展示構成になっています。来館者は「大河ドラマと併せて楽しめる」と興味深く観覧していました。



▲普段は見られない貴重な資料を楽しむ来館者

鮮やかなピンク色の大輪が咲き誇る 古河公方公園 大賀ハス



▲朝日を浴びて輝く大賀ハス

6月下旬から7月中旬にかけて古河公方公園の大賀ハスが見ごろを迎えました。

昭和50年に公園開設を記念して千葉市より2本が株分けされ、今では約3千平方メートルの蓮池いっぱい広がっています。鮮やかなピンク色の大輪が、多くの写真愛好家や観覧者の目を楽しませていました。